

震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9
東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる



- ◎ 6月7日
 - ・近代製鉄発祥の地「釜石」再訪 横野洋式高炉跡・大塊鉄鉱山・釜石鉄の歴史館
 - ・釜石線 QRूपによる北上山地仙人峠越で陸中大崎へ
- ◎ 6月8日
 - ・山田線不通区間代行バス・三陸北リアス線で北三陸沿岸をめぐる
 - ・山田町船越で現在発掘中の古代の製鉄遺跡現地見学
 - ・岩泉町 慶永村再訪 見学
 - ・北緯40度地球村 菅代・黒崎再訪
- ◎ 6月9日
 - ・黒崎峠 菅代浜 菅代の街見学
 - ・三陸鉄道で久慈 そして八戸線で羅善町まで



東北 三陸沿岸のIron Roadを訪ねる

震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9.

三陸沿岸のIron Road

三陸は古代 藤手刀を手に戦った蝦夷の兵器庫・製鉄地帯
古代からたたら製鉄跡が点々と続く三陸海岸
山には石鉄 川には銕鉄 浜には砂鉄 砂鉄浜が点々と
久慈から八戸には大量のトハ砂鉄層もある
これは海底に堆積した砂鉄が隆起して出現したもの
また、釜石の山中 大楢・楢野は洋式高炉が立ち並ぶ
近代製鉄発祥の地
そして、三陸の海は魚の宝庫
三陸の森が海を育てるというが、
その一因に豊富な鉄の流れ込みがあるという



東北 三陸沿岸のIron Road を訪ねる

1992年春 北の古代からの製鉄地帯 北三陸 龍泉洞から普代・久慈を訪ねました
その時 知った久慈の砂鉄そして琥珀。そして、琥珀の道アンバーロード。
久慈にアンバーロード そして三陸沿岸には「Iron Road」
製鉄関連遺跡を訪ねるCountry walkを「Iron Road・和鉄の道」としようと・・・

そして、この三陸は 古代 蕨手刀を持って戦った蝦夷たちの鉄の生産基地
独自の製鉄文化をそだてたのでは・・・と。

また、釜石には 日本近代製鉄発祥の地 洋式高炉操業が始まった地であり、
山には岩鉄と呼ばれた鉄鉱石 川には餅鉄がゴロゴロと。

その後、何度となく訪ねた東北・北三陸 そして、2011年東日本大震災に見舞われた。

震災後 よう足を踏み入れなかった北三陸のIron roadをはじめて歩きました。

1992年に歩いた北三陸のIron Rod・和鉄の道
龍泉洞・田野畑・普代から久慈へ その時の写真をコラージュに

東北 三陸沿岸のIron Road 再訪 特に印象に残った景色

北上川が流れ下る岩手県の中央 北上市の市民憲章には

「あの高嶺 鬼すむ誇り その瀬音 久遠の賛歌

この大地 燃えたついのち ここは 北上」

と故郷を切り開いてきた先住の人たちや故郷の大地・川・山への強い連帯の思いと共感を歌い上げます
また、険しい北上山地に抱かれた南部では

「田舎なれども 南部の山は 西も東も金の山」と謡う

5.1. 復興が進む中で 三陸沿 岸の街の今

1.	釜石の背後の高台に建つ仮設住宅群と釜石の街中で見た津波標識 イメージをはるかに超える津波の高さ
2.	三陸復興道路と三陸鉄道の開通 インフラ整備と外とつながれる沿線の人たちの喜び
3.	消え去った街並み跡に声も出なかった 津波で消えた大槌町・山田町の中心街
4.	山田湾に無数に浮かぶ養殖いかだ 沿岸の山々の養分・鉄分が育てた豊かな海
5.	山田町 船越半島 船越半島の中央を乗り越えていった津波のエネルギー
6.	普代の大防潮堤と普代川水門 そして 普代名物すき昆布
7.	トンネルからトンネルヘリアス式海岸の集落を渡る三陸鉄道 高い土盛路線で復旧した田野畑村 島越駅 朝日新聞記事より

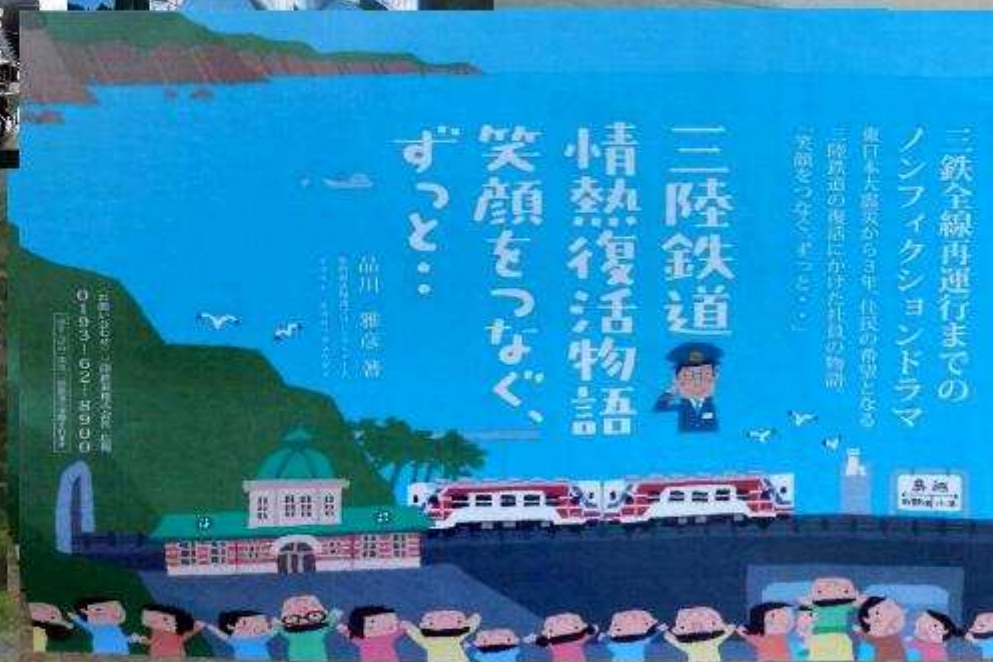
5.2. 三陸沿岸のIron Road

1.	内陸部と三陸沿岸を隔てる東仙人峠のすごさと陸中大橋 google鳥瞰写真で見る仙人峠の急峻さ
2.	洋式高炉が立ち並ぶ日本の近代製鉄発祥の地 陸中大橋・橋野 日本の近代製鉄発祥を成し遂げたベース技術 三陸沿岸のたたら製鉄
3.	炭窯と竪型炉が近接同居する山田町船越の古代の製鉄遺跡 これが東北で育まれた竪型製鉄炉による製鉄場？ 蝦夷の兵器庫 三陸沿岸の思いをダブらせる
4.	豊かな海を育てる沿岸の山々 沿岸の山々の養分・鉄分が育てた豊かな海
5.	久慈・八戸の砂鉄と南部鉄 北三陸久慈・八戸に古代たたら遺跡はないのか・・・
6.	砂鉄の宝庫 三陸沿岸の砂鉄浜



「あの高嶺 鬼すむ誇り
その瀬音 久遠の賛歌
この大地 燃えたついのち
ここは 東北 」 と

- 北上市市民憲章より - 「北上」を「東北」に





列車に乗り込むとばっと目に付く「あまちゃん」のポスター
どれだけ多くの人たちを元気づけたことでしょうか……

東北 三陸沿岸のIron Roadを訪ねる 2014.6.7.-6.9.
花巻から仙人峠を越えて釜石 そして 北三陸沿岸 walk



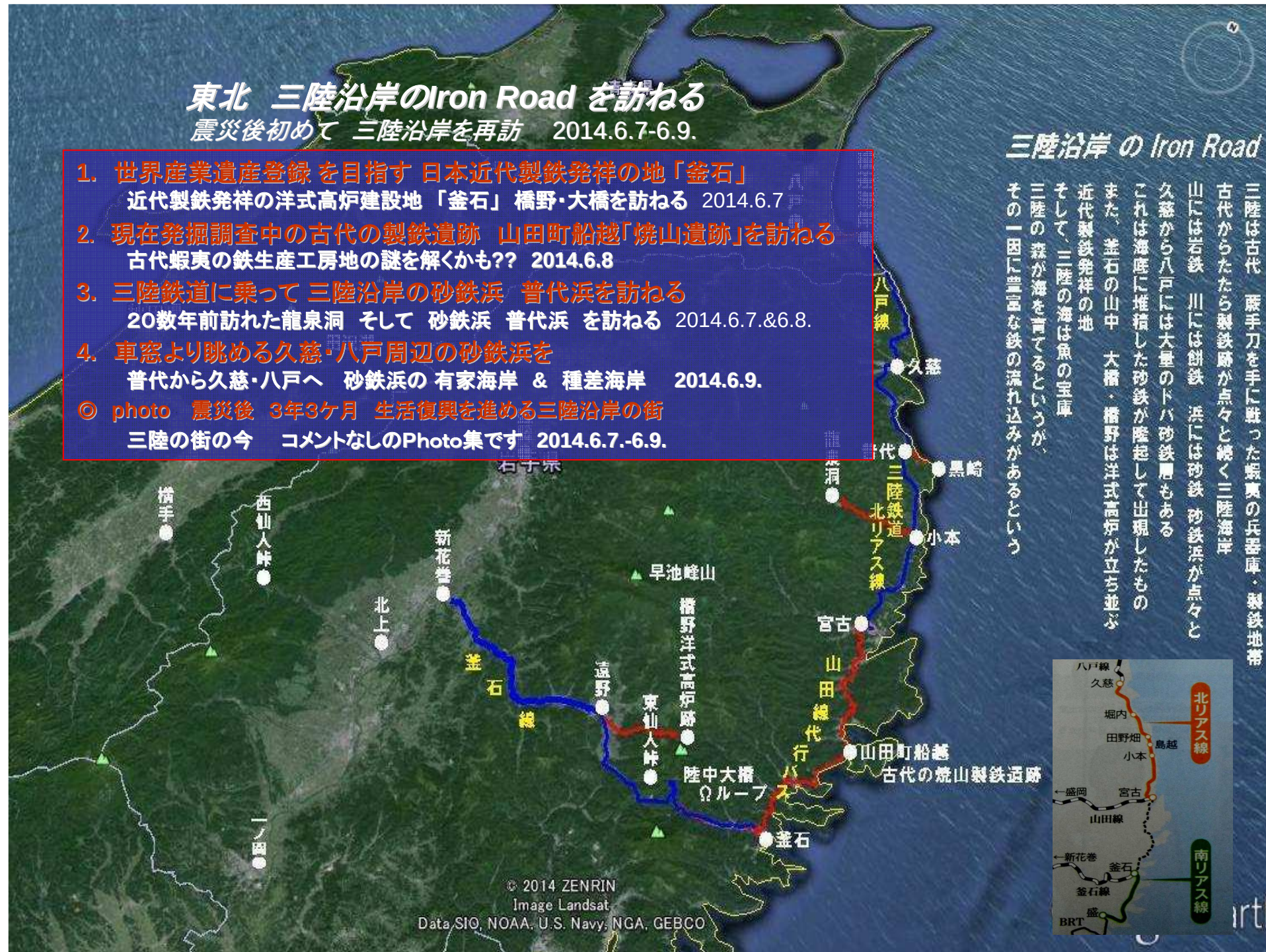
東北 三陸沿岸のIron Roadを訪ねる

震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9.

1. 世界産業遺産登録を目指す日本近代製鉄発祥の地「釜石」
近代製鉄発祥の洋式高炉建設地「釜石」 橋野・大橋を訪ねる 2014.6.7
 2. 現在発掘調査中の古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」を訪ねる
古代蝦夷の鉄生産工房地の謎を解くかも?? 2014.6.8
 3. 三陸鉄道に乗って 三陸沿岸の砂鉄浜 普代浜を訪ねる
20数年前訪れた龍泉洞 そして 砂鉄浜 普代浜 を訪ねる 2014.6.7.&6.8.
 4. 車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜を
普代から久慈・八戸へ 砂鉄浜の 有家海岸 & 種差海岸 2014.6.9.
- ◎ photo 震災後 3年3ヶ月 生活復興を進める三陸沿岸の街
三陸の街の今 コメントなしのPhoto集です 2014.6.7.-6.9.

三陸沿岸のIron Road

三陸は古代 藤手刀を手に戦った蝦夷の兵器庫・製鉄地帯
古代からたたら製鉄跡が点々と続く三陸海岸
山には石鉄 川には銕鉄 浜には砂鉄 砂鉄浜が点々と
久慈から八戸には大量のトバ砂鉄層もある
これは海底に堆積した砂鉄が隆起して出現したもの
また、釜石の山中 大橋・橋野は洋式高炉が立ち並ぶ
近代製鉄発祥の地
そして、三陸の海は魚の宝庫
三陸の森が海を育てるというが、
その一因に豊富な鉄の流れ込みがあるという





鉄の資源帯 北上山地を釜石線Ωループで超えて釜石へ 2014.6.7.



奥羽山脈の和賀仙人峠(西仙人峠)そして北上山脈の東仙人峠 どちらも鉄鉱石を産出する古代からの険しい和鉄の道

この二つの峠が 蝦夷の鉄生産基地 秋田そして 三陸を支えたのではないか??

また 東仙人峠を越えた陸中大橋は近代製鉄発祥の地

そんな険しい東仙人峠・陸中大橋を釜石線のΩループで超えてゆく

釜石線が仙人峠をΩループで走り抜ける陸中大橋 2014.6.7.
 ここは近代製鉄発祥の地 洋式高炉が初めて建設された地



世界産業遺産登録を目指す日本近代製鉄発祥の地「釜石」
現存する日本最古の高炉跡 橋野鉄鉱山

大門から右手坂を登った上方から、1番高炉・二番高炉跡を振り返る 2014.6.7.

橋野にある3本の高炉のうち 1番・2番高炉は万延元年(1860)または万延2年(1861)に完成され、明治4年(1871)年に破棄された。

2番高炉

1番高炉

三陸沿岸の Iron Road



復興事業推進のため三陸沿岸で進む遺跡発掘調査

岩手県埋蔵文化財センター所報「わらびて」129号 2014.2.28より

三陸沿岸は古代からの鉄鉱石・砂鉄の資源帯であり、海岸段丘の山裾には古代から点々と製鉄遺跡がある。今 復興道路や住宅建設などの震災復興事業推進の発掘調査の中で、数々の遺跡発掘調査が行われ、数々の製鉄関連遺跡の遺構・遺物が明らかになっている。中でも 山田町の山裾からは 次々と9か所にも及ぶ古代の製鉄遺跡が発掘され、古代の製鉄炉など古代三陸の製鉄が解き明かされるのではないかといわれる。山田町船越の湾を臨む丘の斜面から羽口が差し込まれた形のままで古代の製鉄炉が発見されたと聞いて、釜石から宮古への代行バスの途中にある山田町船越の「焼山遺跡」そして 船越半島浦の浜の砂鉄を見学してきました。



発掘調査が進む古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」 2014.6.8.



復興事業推進で発掘調査が進む 古代の製鉄遺跡跡 山田町船越 焼山遺跡 2014.6.7.



砂鉄浜 焼山遺跡の下にある船越半島山田湾に面した浦の浜 2014.6.7.

三陸沿岸のIron Road 砂鉄浜



土砂降りの雨に煙る砂鉄浜 普代川河口 普代浜 2014.6.8.朝

三陸沿岸のIron Road 砂鉄浜



久慈一八戸車窓より 砂鉄浜 洋野町 陸中中野・有家海岸 2014.6.9.

三陸沿岸のIron Road 砂鉄浜

砂鉄浜 八戸種差海岸 2014.6.9.

三陸鉄道 北リアス線 2014.6.8. & 6.9

リアス式海岸の崖と谷で、隣の集落と隔てられ
集落それぞれが小宇宙ともいわれる三陸沿岸の町々

鉄道の復旧を待ち望んだ人たちの
気持ちが よくわかる「三鉄」





普代の街で 元気な声の響きに吸い寄せられて
早朝のスクールバス&昆布の加工場 2014.6.9.



普代の名産
短冊状に細かく切った昆布をのりのように
漉き込んでつくる「すき昆布」に赤紫の海藻「ふのり」



岩手・岩泉

Iwaizumi town, Iwate pref.

神秘の世界を探検しよう。

国指定天然記念物・日本三大鍾乳洞

龍泉洞

Ryusendo

One of the Three Great Limestone Caves of Japan
A country appointment natural monument

龍泉洞 2014.6.8.

そのどこまでも透明な青に惹かれていましたが、
20数年ぶりの再訪 かつての印象より ちょっとその青が薄くなったようだ



20数年ぶりに再訪した龍泉洞 2014.6.8.

震災後3年の今 釜石 2014. 6.7. & 6.8.





街の至る所に津波の到達高さ 避難経路を示す標識があり、こんな街の中までとびっくり。
でも 三陸の中心都市 街に落ち着いた歩みがどこかしこに



復興が始まったといいますが、山裾の高台には数多くの仮設住宅がありました 2014.6.7.



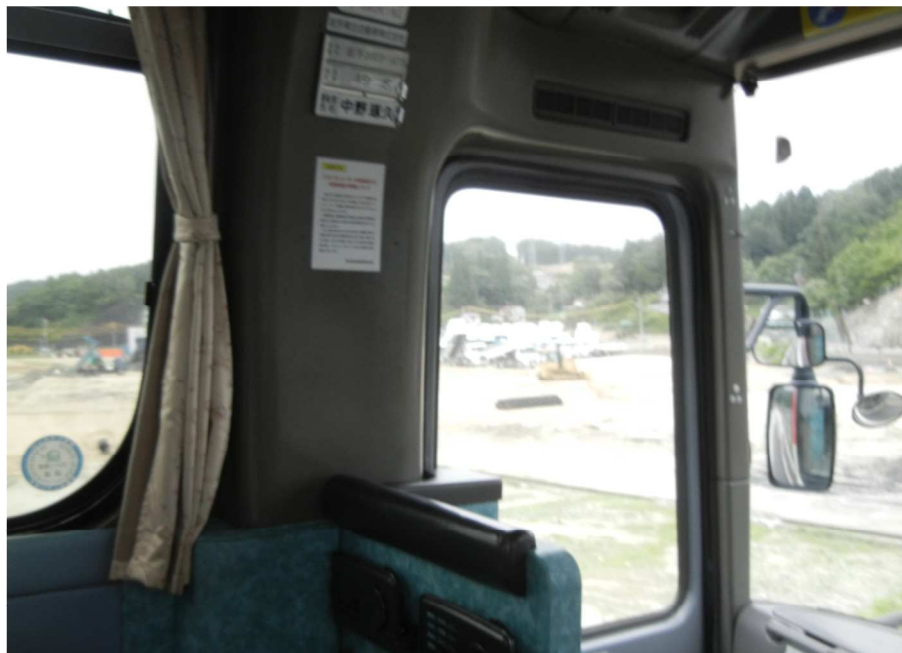


震災後3年の今 山田町で 2014.6.8.

船越の半島を乗り越して 山田の街に入ると
3年もたっているのにと...声も出ない







街から山間に入ったスポーツセンターに仮設で県立山田病院 そして船越の鯨の博物館も仮設の収蔵庫に



岩手・山田湾内をうめるカキ・ホタテ養殖いかだ群に人影
養殖生産が始まっている。また、沈みがちな気持ちを明るくしてくれた街の人たち

「よみがえった海」 「応援しているよ がんばって 」と 2014.6.8



宿の食事には生の魚や貝 そして昆布やわかめなど 三陸沿岸の海の幸が一杯並びました

「よみがえった海」「応援しているよ がんばって 」と 2014.6.8



霧雨に煙る普代川の河口 普代浜 《1》 うっすら堆積した砂鉄の黒い筋が見える 2014.6.9.

普代川河口を襲った津浪で浜の樹木はことごとく倒されたが、背後の大堤防が街を救った



河口側堰堤の南側山裾 かつてはあった松林 2014.6.9.
その木がすべて 根に近い部分で引きちぎられ、林が消滅 すごい光景



普代川水門堰堤 河口側 普代浜 2014.6.9.

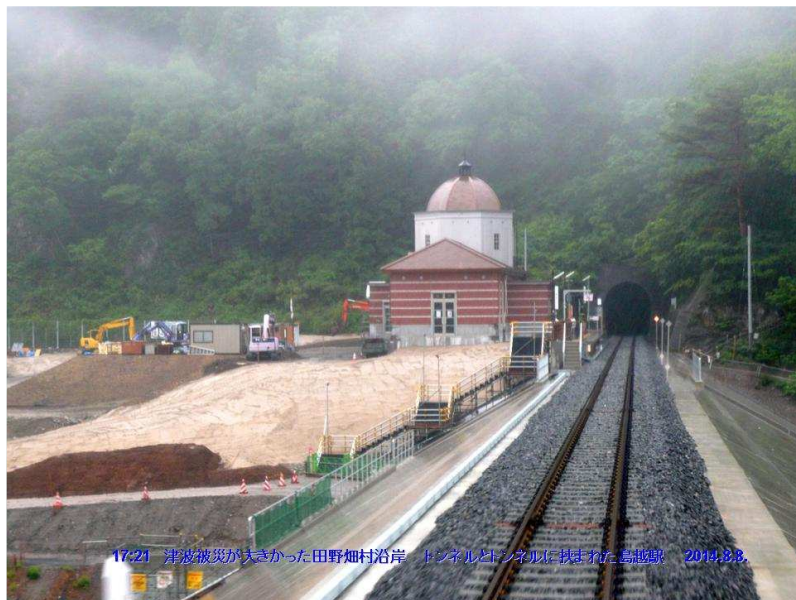


大津波から普代の街を救った大防潮堤と普代川水門

普代駅
普代川水門
普代浜
太田名部防潮堤
普代遊路会事務所
普代山防衛隊
普代山防衛隊
普代山防衛隊



普代の街で 元気な声の響きに吸い寄せられて
早朝のスクールバス&昆布の加工場 2014.6.9.



17:21 津波被災が入った田野畑村沿岸 トンネルとトンネルに抜けた鳥越駅 2014.8.8



鳥越駅列車の車窓より 鳥越漁港を眺める 2014.8.8

真っ暗なトンネルから列車がでると いきなり眼前に白砂の浜の向こうに海が広がる美しい場所のきおくがあるのですが……



国土地理院の地図ではまだ線路が欠落している島越駅 松前川鉄橋周辺 復興工事が急ピッチで進む



ひとえまがたり

しまのこし

島越駅 (岩手県、三陸鉄道北リアス線)

流された集落 再び集う場に

今年4月に全線復旧したばかりの三陸鉄道に乗りこぎた鉄道ファンや家族連れが、新築の香りがする駅舎からホームに

防潮堤を兼ねた築堤の上を列車が走る。流された集落の跡に野草が茂っていたり上田順人撮影



1724 津波被災が入った田野郷村沿岸 トンネルとトンネルに挟まれた駅舎跡 2014.8.3

開。島越駅から徒歩10分の島越漁港から、1億1千万年前の地層や高さ200mの断崖を眺める約50分のコースを巡る。11月初旬まで。1460円。☎観光船発着所(0194・33・2113)。

久慈駅や堀内駅は、昨年放送

されたNHKの連続テレビ小説「あまちゃん」のロケ地。久慈駅すぐのあまちゃんハウスやもぐらんぴあ・まちなか水族館には衣装や小道具、セットなどが展示されている。☎久慈広域観光協議会(53・5756)。



自分たちも自信が持てますから」駅前でショベルカーが作業する音が響く。村は来年の夏を目標に、海産物加工場も入るコミュニティセンターや盆踊りもできる広場を造る予定だ。「それでこの駅は本当の完成です。津波ではなかった集落の人たちが、再び集まれる場所になれば」

(河瀬久美)

高台に移転した新しい駅舎はドームと屋根を銅でふき、外壁にはれんが調のタイルを使った。「東京駅のイメージですかと聞かれますが、そんなに立派じゃない」。駅舎を管理する田野畑村役場の工藤光幸さん(51)が笑う。「でも、誰に見せても恥ずかしい駅にしかたかった」

高台に移転した新しい駅舎はドームと屋根を銅でふき、外壁にはれんが調のタイルを使った。「東京駅のイメージですかと聞かれますが、そんなに立派じゃない」。駅舎を管理する田野畑村役場の工藤光幸さん(51)が笑う。「でも、誰に見せても恥ずかしい駅にしかたかった」

1984年の三鉄開業以来、早野さんはこの家から駅を見てきた。海水浴客でにぎわう夏場、駅に備えられたシャワールの使い過ぎで家が断水して困ったこともあったという。「今思うと、幸せな悩みだったのね」

7月27日、待望の新駅舎で窓口営業が始まった。青いドームが印象的だった前の駅舎は東日本大震災の津波で跡形もなくなり、線路は高築ごと破壊された。三鉄の駅の中でも最大級の被害だった。駅周辺にひしめくように立っていた100軒以上の家も駅舎とともに流された。住人は付近の仮設住宅などにちりちりになり、高台にある早野さち子さん(62)の家だけが残された。「引っ越さな



17:21 津波被災が大きかった田野畑村沿岸 トンネルとトンネルに挟まれた島越駅 2014.8.8.



列車に乗り込むとばっと目に付く「あまちゃん」のポスター
どれだけ多くの人たちを元気づけたことでしょうか……

東北 三陸沿岸のIron Road 再訪 特に印象に残った景色

北上川が流れ下る岩手県の中央 北上市の市民憲章には
 「あの高嶺 鬼すむ誇り その瀬音 久遠の賛歌
 この大地 燃えたついのち ここは 北上」
 と故郷を切り開いてきた先住の人たちや故郷の大地・川・山への強い連帯の思いと共感を歌い上げます
 また、険しい北上山地に抱かれた南部では
 「田舎なれども 南部の山は 西も東も金の山」と謡う

5.1. 復興が進む中で 三陸沿 岸の街の今

1.	釜石の背後の高台に建つ仮設住宅群と釜石の街中で見た津波標識 イメージをはるかに超える津波の高さ
2.	三陸復興道路と三陸鉄道の開通 インフラ整備と外とつながれる沿線の人たちの喜び
3.	消え去った街並み跡に声も出なかった 津波で消えた大槌町・山田町の中心街
4.	山田湾に無数に浮かぶ養殖いかだ 沿岸の山々の養分・鉄分が育てた豊かな海
5.	山田町 船越半島 船越半島の中央を乗り越えていった津波のエネルギー
6.	普代の大防潮堤と普代川水門 そして 普代名物すぎ昆布
7.	トンネルからトンネルヘリアス式海岸の集落を渡る三陸鉄道 高い土盛路線で復旧した田野畑村 島越駅 朝日新聞記事より

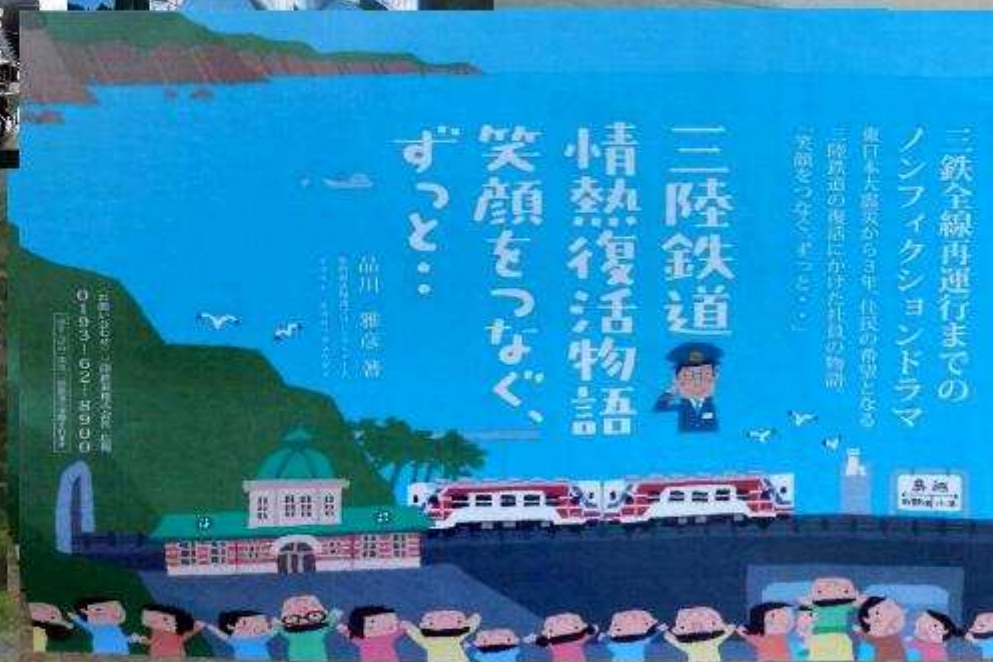
5.2. 三陸沿岸のIron Road

1.	内陸部と三陸沿岸を隔てる東仙人峠のすごさと陸中大橋 google鳥瞰写真で見る仙人峠の急峻さ
2.	洋式高炉が立ち並ぶ日本の近代製鉄発祥の地 陸中大橋・橋野 日本の近代製鉄発祥を成し遂げたベース技術 三陸沿岸のたたら製鉄
3.	炭窯と竪型炉が近接同居する山田町船越の古代の製鉄遺跡 これが東北で育まれた竪型製鉄炉による製鉄場？ 蝦夷の兵器庫 三陸沿岸の思いをダブらせる
4.	豊かな海を育てる沿岸の山々 沿岸の山々の養分・鉄分が育てた豊かな海
5.	久慈・八戸の砂鉄と南部鉄 北三陸久慈・八戸に古代たたら遺跡はないのか・・・
6.	砂鉄の宝庫 三陸沿岸の砂鉄浜



「あの高嶺 鬼すむ誇り
その瀬音 久遠の賛歌
この大地 燃えたついのち
ここは 東北 」 と

- 北上市市民憲章より - 「北上」を「東北」に



東北 三陸沿岸のIron Roadを訪ねる

震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9.

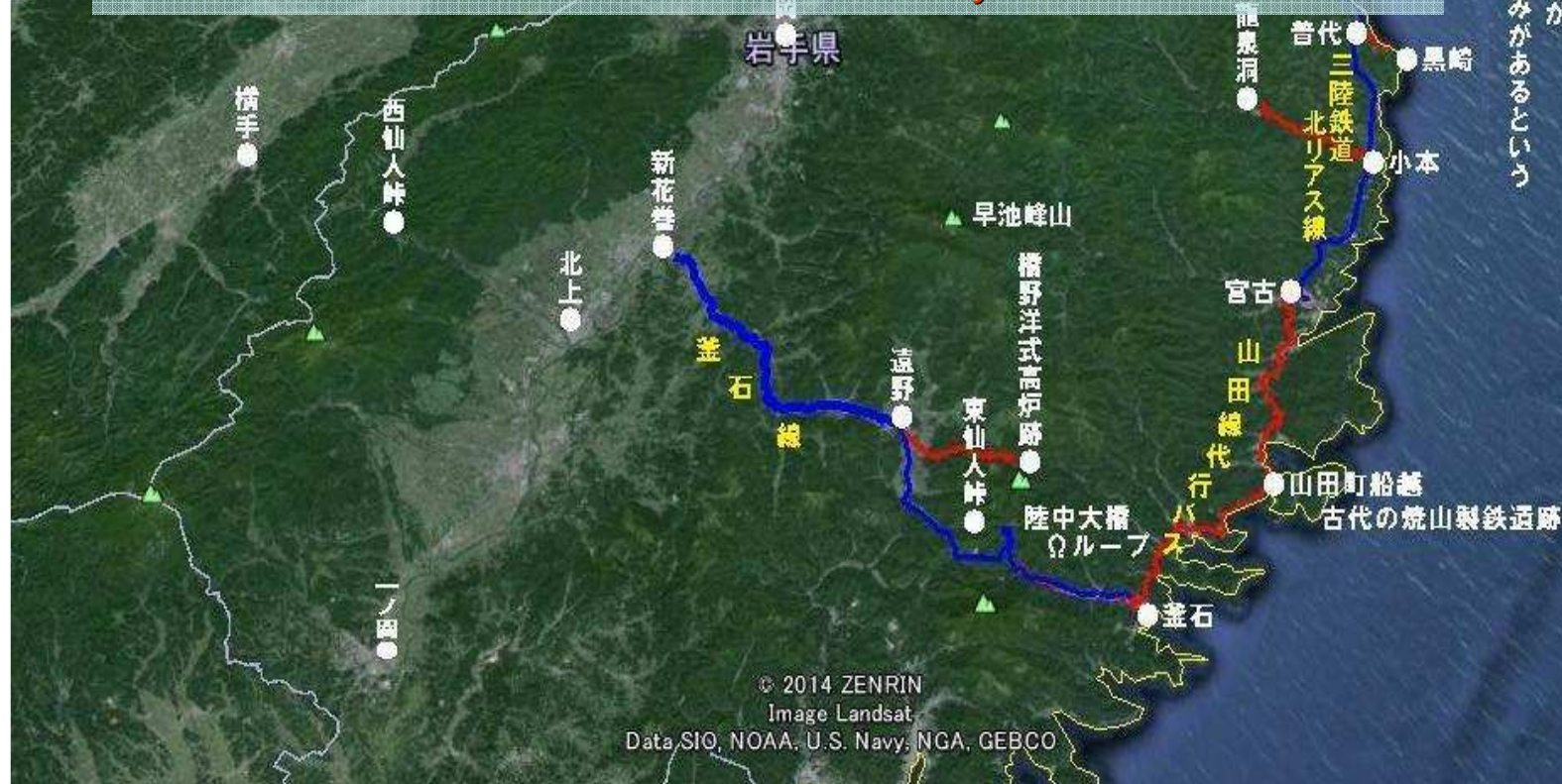
今回 釜石から八戸まで三陸沿岸 Iron Roadを歩き、多くの方に出会いました。
「三陸沿岸の街の現状」についてのおもいは人それぞれ。
歩いた三陸沿岸のコメントを避け、私の見た街の今をスナップにして、
お知らせしました。

三陸沿岸の生活復興はまだこれから。 大変な状況を前に声も出なかった。
でも東北には縄文から続く「心優しき仲間の縁・キズナ」の意識がある。
一日も早く安定な生活が取り戻せるよう願っています。

From Kobe by Mutsu Nakanishi

三陸沿岸の Iron Road

三陸は古代 藤手刀を手に戦った蝦夷の兵器庫・製鉄地帯
古代からたたら製鉄跡が点々と続く三陸海岸
山には石鉄 川には銕鉄 浜には砂鉄 砂鉄浜が点々と
久慈から八戸には大量のトバ砂鉄層もある
これは海底に堆積した砂鉄が隆起して出現したもの
また、釜石の山中 大楢・楢野は洋式高炉が立ち並ぶ
近代製鉄発祥の地
そして、三陸の海は魚の宝庫
三陸の森が海を育てるというが、
その一因に豊富な鉄の流れ込みがあるという



三陸沿岸の Iron Road

三陸は古代 藤手刀を手に戦った蝦夷の兵器庫・製鉄地帯
古代からたたら製鉄跡が点々と続く三陸海岸
山には石鉄 川には餅鉄 浜には砂鉄 砂鉄浜が点々と
久慈から八戸には大量のトバ砂鉄層もある
これは海底に堆積した砂鉄が隆起して出現したもの
また、釜石の山中 大崎 青野は洋式高炉が立ち並ぶ

東北 三陸沿岸のIron Roadを訪ねる

震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9.

《参考》

【和鉄の道】

1. 田舎なれども南部の国は西も東も金の山 岩手県南部 蝦夷の鉄 北上山地 大鎚・釜石へ
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/kmaisi.pdf>
2. 岩手県北上川流域の製鉄地帯 一関博物館 蝦夷の藤手刀と日本刀のルーツ 舞草刀
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb08.pdf>
3. 蝦夷の鉄・東北 和鉄の道 東北地方 和鉄の道 9編 取りまとめ
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/4iron06.pdf>

【転載・引用・参考資料など】

1. 橋野高炉跡パンフレット 日本近代製鉄の先駆け 釜石教育委員会編 [13858KB pdfファイル]
<http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/8,10478,c.html1047820090928-114449.pdf>
2. 釜石市 歴史 世界遺産登録推進室ほか
<http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/8,0,48,255.html>
3. 釜石から誕生した近代製鉄のあゆみ
http://www.nssmc.com/company/publications/monthly-nsc/pdf/2007_7_170_11_12.pdf
4. 岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」(No.129). 焼山遺跡
<http://www.echna.ne.jp/~imaibun/warabite/no129/warabite129.pdf>
5. 田村栄一郎著「みちのくの砂鉄 いまいずこ」
6. 柴田弘武著「鉄と俘囚の古代史」